

手づくり教材で伝える交通安全

皆さんは市の「交通指導員」をご存知ですか？

大崎市では現在三人の交通指導員が、皆さんが交通事故に遭わないよう、交通安全意識の普及啓発をする交通安全教育を担当しています。今月号では、交通指導員の活動にスポットを当て、市の交通安全の取り組みを紹介します。



昔話をアレンジした「交通安全昔話」

交通安全の先生です

「大崎市交通指導員（以下指導員）」は、市長から委嘱された非常勤の嘱託職員で、その始まりは昭和五十七年、旧古川市で「婦人交通指導員」として誕生しました。

主な活動は、年間二百回以上（平成十八年度行われている交通安全教室で、保育園児や幼稚園児、高齢者などに対し、交通安全の普及や啓発、教育指導を行い、市内の交通事故を防止するために活動しています。

これまでは、三塚指導員と伊勢指導員の二人で活動してきましたが、大崎市誕生により活動がより広範囲になったため、今年四月から高橋指導員が加わりました。現在は三人体制で市内各所へ出向き、交通ルールやマナーについて指導しています。指導員の三人は、幼稚園教諭の資格を持ち、実際に幼稚園勤務の経験があります。それを生かした交通安全教室は、楽しくてわかりやすいと、子ども

もたちや高齢者の皆さんからとても好評です。

手づくり教材で心に伝える交通安全

教室では、幼児・小学生・高齢者など、対象に合わせて指導重点項目を立て、興味を持って楽しみながら交通ルールを学べるように、手づくりのオリジナル教材を使用し指導しています。

「どうすれば交通安全に関心を持ってもらえるか」を第一に考えて作る教材。「自分たちで考え、作るので愛着が持てます。作る時間よりも構想時間のほうが長いです」という教材は、どれも手の込んだ仕上がりがります。これまでも県の教材コンクールを始め数々の賞を受賞しています。なお、今年度は全国自作視聴覚教材コンクール社会教育部門で入選を果たしました。

交通安全教室

■幼児対象教室

市内の保育園（所）と幼稚園

を、年に二回ずつ巡回指導をしています。

▼交通安全昔話「さるじぞう」
今年度の一回目の教室では、昔話の「さるじぞう」を交通安全にアレンジして、手づくりの仕掛け紙芝居を上演しています。歌や効果音も使用した楽しい紙芝居に子どもたちの目は釘付けで、楽しみながら交通ルールやマナーを覚えることができました。

■小学生対象教室

▼反射材キーホルダー作り
今年度、夏休み期間に開催した子ども会の教室では、一人ひとり工夫をして、反射材を使用したキーホルダー作りを行いました。交通安全に興味を持ち、「自分の命は自分で守る」ことを考えるよい機会に

なりました。

■高齢者対象教室

高齢者の交通事故が増加している中、交通ルールの遵守を一人ひとりに訴えかけるために、老人クラブや敬老会、公民館行事など高齢者が集まる機会に出向き高齢者教室を開催しています。

教室では、交通安全ミニ劇場と題した寸劇を上演。ユーモアにあふれた内容と絶妙のやり取りで、会場は終始笑いが絶えません。（左、「交通安全ミニ劇場」参照）

▼反射材バック作り

今年度は絵手紙風の絵を入れた反射材バック作りをしています。自分の好きな絵や言葉を書いたオリジナルのバックが、夜の外出時には反射材

として身を守ってくれると、とても好評です。

たくさんの人に伝えたい

「指導員になって、命の大切さをどう伝えたらいいのか、伝えることの難しさをひしひしと感じています」と話す高橋指導員。

交通事故は事故に遭った人だけでなく、家族や友達、皆さんの人が悲しい思いをします。交通安全教室は、交通事故で悲しむ人が一人でも少なくなるように、交通ルールやマナーの知識だけでなく、命の大切さに気づき、思いやりの心や、決まりを守る心をはぐくんでき、そんな教室を目指しています。

交通安全教室を市内各地で

交通安全ミニ劇場

「交通ルール 守るあなたに ひどめぼれ」

陽気な俊造おじさんと優しい交通指導員が、交通ルールやマナーについて教えてください。



シートベルトはしっかり締めて、70歳以上の高齢者は高齢運転者マークもつけましょう。6歳未満の子どもにはチャイルドシートが必要です。



夜歩いて出かけるときは白っぽい色の服や反射材を身に付けましょう。ドライバーは、黒っぽい服装では30m、白っぽい服装では50m、反射材を付けたら120m手前で発見することができます。



高齢者の事故防止のための「ひとめぼれ作戦」。キーワードは「気心腹口命」

気	心を長く	急がば回れ
心	心は丸く	やさしさ、気配り
腹	腹立てず	怒らない
口	口慎めば	とやかに言わず実行
命	命長かれ	交通ルールを守って元気で長生き

交通安全課交通防犯係 ☎23-5144

秋の交通安全県民総ぐるみ運動

期間 9月21日(金)～30日(日)

■運動の基本「高齢者の交通事故防止」

■運動の重点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 3 後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 道路の正しい横断の励行

交通死亡事故ゼロ100日達成しました

市は7月23日、交通死亡事故ゼロ100日達成しました。

これは大崎市誕生後初めての記録で、7月30日に県警本部長からの祝詞が市長に伝達されました。残念なことに、8月に入りこの記録は途切れましたが、市では今後も、交通事故の防止に取り組んでいきます。



市長は祝詞を伝達する古川、三塚両警察署長

交通安全教室を開きませんか！

交通安全について楽しく学ぶ教室です。交通指導員が皆さんの地域に伺います。

対象 親子クラブ、子ども会、婦人会、老人クラブなど主に子どもと高齢者
場所 教育施設、地区公民館、集会所など
日時 月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 午前10時～午後4時

☎ 防災安全課交通防犯係 ☎23-5144



大崎市交通指導員 伊勢 聡美さん(右) 三塚 俊枝さん(中) 高橋 礼子さん(左)

